

平成 26 年度 前期公開授業週間(6/16～6/27)のまとめ

1 各評価について

【すぐれている点】

- ・生徒は、授業に集中している。(58%)
- ・生徒個々が、授業への参加意識を持てる場が設定されている。(53%)
- ・教材が適切に使用され、十分な教材研究がなされている。(50%)
- ・生徒は、発問や学習課題に対して積極的に取り組んでいる。(44%)

生徒が授業に参加しようとする態度が養われている。
教員がしっかりと準備をし、しかるべき場を生徒に与えれば、生徒はそれに対して十分に応えてくれることが分かる。

【改善するとよい点】

- ・生徒は、分からない点を積極的に質問できるようにする。(53%)
- ・生徒の理解を促すように、発問や板書が工夫する。(20%)
- ・生徒の理解度・到達度の把握を行うようにする。(16%)
- ・指導内容のレベルは、生徒の学力に照らして合わせるようにする。(11%)
- ・生徒に論理的思考力を身につけさせる授業展開を工夫する。(11%)

すぐれている点と比較すると、生徒が授業に対して受け身になっている様子が窺える。生徒が主体性を持って学べるような発問や授業展開をさらに追求したい。

2 S G Hに関する授業改善

【コミュニケーション能力の育成】の実践例

- ・お互いに教え合う、確認する、意見交換をする等の場面がある。(ペア、グループ)
- ・生徒が目指すべき姿を明確にして授業が進められている。

【言語活用能力の育成】の実践例

- ・生徒が自分の言葉で説明する機会を設定している。
- ・「なぜそうなるのか？」という理由を生徒に考えさせる工夫がなされている。

【課題解決能力の育成】の実践例

- ・発問を、生徒が既習事項を最大限に活用して考えられるように工夫されている。
- ・課題解決に向けての思考過程を重視する工夫がなされている。

※ 後期の授業公開週間は11月4日(火)～21日(金)